

■長期運用の経過

<平成26年度～令和元年度>

- ・平成26年12月より債券による長期運用を入札方式にて開始。低金利環境等による休止や予約購入による再開を経て、令和元年度には年間249億円を新規運用。

<令和2年度～令和5年度9月>

- ・新型コロナウイルス感染症への対応等で資金状況が流動的であることを踏まえ、令和2年5月から令和4年8月まで長期運用を休止。
- ・令和4年9月から令和5年2月にかけて満期到来分135億円を各月で平準化(22億円～23億円/月)し、長期運用を入札方式にて再開。
- ・令和5年3月から9月にかけては、新型コロナウイルス感染症への対応等が資金状況に与える影響を考慮し、毎月50億円ずつ運用。

<令和5年度10月～>

- ・令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類に移行し、対応等の影響が限定的となり、資金状況が安定してきたことを踏まえ、令和5年10月以降の運用計画を策定。
- ・令和2年5月から令和4年8月までの間、長期運用を休止していたことにより滞留している長期運用可能資金約2,700億円を当面3カ年(令和5年10月～令和8年9月)で年間900億円ずつ入札方式と予約購入を並行して運用。

■長期運用額等の推移(令和2年度～令和6年度)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(見込み)
新規運用額(額面)	56億円	0億円	185億円	745億円	905億円
年度末残高(額面)	1,158億円	1,139億円	1,218億円	1,823億円	2,600億円
運用利息	206,564千円	207,456千円	216,865千円	393,824千円	872,937千円

■令和7年度運用予定

- ・10年限は入札方式、5年限は入札方式と予約購入(高速道路会社債)を併用、共同債は予約購入していく予定。

(単位: 億円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
10年限	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	360
5年限	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	360
共同債	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180
合計	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75	900

- ・なお、資金状況や市場環境等を慎重に見極め、必要に応じて、運用計画を変更。

資金運用の実績について

				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (見込み)	
運用可能な資金量(億円)				6, 761	5, 542	9, 494	11, 258	13, 065	
運用 状況	運用額(億円)			1, 542	1, 508	1, 811	2, 523	4, 209	
	平均利回り(%)			0. 135	0. 138	0. 124	0. 189	0. 296	
	短期	運用額(億円)		381	361	679	1, 035	1, 986	
		平均利回り(%)		0. 003	0. 001	0. 001	0. 001	0. 067	
	長期	運用額(億円)		1, 161(1, 158)	1, 146(1, 139)	1, 132(1, 218)	1, 488(1, 823)	2, 223(2, 600)	
		平均利回り(%)		0. 179	0. 181	0. 198	0. 319	0. 500	
		内訳	1年超 ～5年以下	運用額(億円)	394(391)	379(372)	338(334)	429(539)	671(791)
				平均利回り(%)	0. 027	0. 026	0. 037	0. 171	0. 370
		5年超 ～10年以下	運用額(億円)	663(663)	663(663)	690(780)	955(1, 180)	1, 448(1, 705)	
				平均利回り(%)	0. 204	0. 204	0. 217	0. 355	0. 553
10年超 ～20年以下		運用額(億円)	104(104)	104(104)	104(104)	104(104)	104(104)		
			平均利回り(%)	0. 600	0. 599	0. 599	0. 599	0. 599	

※ 運用可能な資金量及び各運用額は、日々の残高を合計し、年間日数で除したもの（1日当たりの平均残高）

※ 運用可能な資金量には、既運用額を含む

※ 長期運用額欄の（ ）内の数値は、年度末時点の運用残高（額面）